

- 2 …… 謹賀新年 町長議長対談
- 5 …… 久我記念館
- 6 …… まちの話題
- 7 …… 消費生活110番
- 8 …… まちの史跡めぐり 大正13年刊行の『糟屋郡志』を読む(5)
- 10 …… 所得税確定申告・町県民税申告の相談窓口開設
- 12 …… 役場からのインフォメーション
- 16 …… わくわくデイサロン、健康コラムニスト すえ子の部屋
- 17 …… 若杉クラブだより、俳句・川柳
- 18 …… 警察署だより、みんなを守る119、商工会だより
- 19 …… 情報いろいろ
- 20 …… 図書館だより
- 21 …… ハッピーバースデー、乳幼児健診・妊婦教室カレンダー
- 22 …… まちの情報カレンダー 休日当番医、水道指定当番 他
- 24 …… 子育て支援センターからのお知らせ、
ふるさとWishが須恵町にやってくる、アザレアホール予定表

COVER

表紙の説明／
大好きな地元での成人式



今月の表紙として九州産業大学造形短期大学の学生が被写体に残った人は、生まれてから小中高と須恵町で過ごし、今年成人式を迎える奥村美映さんです。

子どものころの楽しかった思い出は、アザレアホール須恵でのピアノ発表会や子ども山笠、新年のどんど焼きだそうです。今年、美容専門学校を卒業し、4月からは須恵町内で働く奥村さん。「今後も須恵町民としてお世話になります。」と笑顔で話されました。

今後も計画的に研修を実施し、活力ある議会にしていきたいと思っています。

プライベートで力をいれていること、取り組んでいることはありますか？

町長 私は、子どものころから上須恵で育っており、地元の伝統文化の中で育ってきました。そのため、特に、上須恵祇園山笠に力をいれています。現在は町長という立場になりましたが、どんなに忙しくても、何らかの形で山笠に関わっていたいと思っています。また、自分たちの知識や技術を次の世代に継承していきたいとも思っています。山笠を行うのは、7月のたった一日ですが、意識的には1年中学えていますね。

議長 プライベートで力をいれていることは、耕作されなくなった田、いわゆる遊休農地を借りて農業をすることです。近年、地元である佐谷では活用されなくなった田が多くなってきたように感じます。農業従事者も高齢化が進み、農作業が厳しくなっていることが一つの要因だと思っています。平野部にある田は宅地などに活用できますが、山沿いでは、それが難しい

ので、田のまま活用したいと思っています。そこには、霊峰若杉に連なる山沿いの緑を残していきたいという思いもあります。

私は今、農業をしたことがない人と呼ばれ、農業の担い手を育てていきたいと思っています。

行政と議会は車の両輪といわれますが、お互いに対する要望はありますか？

町長 私から議会への要望はありません。今までどおり、提案した政策について、議会でもよく審議してもらいたいです。

議長 まず、行政と議会は敵対関係ではないと思っています。議員は町民の思いを町政に反映させる側、行政は町民が住みよい町になるための政策立案をする側というだけで、思いは同じではないでしょうか。町民に「住んでよかった」と思われるまちをつくることが第一です。

その上で、町長が前輪、議会は後輪という役割を果たして行きたいと思っています。前輪の勢いを強く押し出すのか、ブレーキをかけるのか、それらを選択して行うのが議会の仕事だと思っています。そのため、行政に對

して、引込み思案にならず、疑問に思ったことは聞く、思ったことは意見するという当たり前のことを常に行なっていきたいと思っています。

町長への要望は、一村一品(須恵町といえど、これだ!)といわれるような特産品を作り出してほしいことです。特産品の研究・開発を行うための補助金制度の創設でも構いません。そうしてできたもので、町をPRし、活性化させることもできると思います。

将来のまちづくりの目標を教えてください。

町長 防災事業を確立し、安心して住んでもらえるまちにしたいと思っています。

また、須恵町は他市町に比べ財政基盤が脆弱です。町の主な財政収入は税金ですが、町内には中小零細企業が多く、町民の所得が特別高いわけでもありません。国からの地方交付税も減少傾向にあり、財政的に、今の行政サービスが10年後も維持できるかわからない状況です。そのため、税金とは違った方法で何とか財政基盤を強化したいと考えています。そのため、起爆剤がSUE NOBAだと思っています。SUE NOBAのような新しい事業に挑戦する時はリスクも

あるかもしれませんが。しかし、今、一生懸命張り、次の世代の糧になることをしなければ、行政サービスの維持はできないと考えています。この事業は、今すぐに成果が出る事業ではありません。だからこそ、10年後にやってよかったといわれるような事業にしたいです。

議長 住みやすいまちにしたい！この目標は変わりません。時代が進むに連れ、自分ばかりが良ければ、周りはどうでも良いと思う人が増えてきたように感じます。同じ町、同じ地域に住んでいるのに、隣の人の顔を知らないようなまちにはしたくありません。

議長になり、町内のさまざまな団体で挨拶をさせていただく機会が多くなりました。その中で、須恵町はボランティア団体が多く、町のことを思い入る人が多いことにも気づきました。町民皆さんが、同じような思いで協働して、住みやすいまちをつくらなければと思います。

そのため、議会としても情報を発信し、より一層議会活動に真摯に取り組んでいきたいと思っています。

美術センター

久我記念館

—企画展のご案内—

月曜休館 祝日の場合は翌日休館

開館時間：10時～17時
(最終入館時間は16時30分)

☎ 932-4987

れいんぼー幼稚園作品展

1月28日(火)～2月11日(火)

れいんぼー幼稚園の子どもたちが、日ごろから楽しんで制作している作品の展示を行います。さまざまなテーマに沿ったユーモアあふれる作品が盛りだくさん。子どもたちのファンタジーな世界観を、ぜひご覧ください。皆さんのご来場をお待ちしています。



第12回 中学校美術部展

2月2日(日)～11日(火)

糟屋地区中学校文化連盟発表会に出展した作品など、部活動で制作した多くの作品を展示します。展示レイアウトからスポットライトの照明まで、美術部員による手作りの展覧会です。一人ひとりの作者の構図や筆づかいなどの感性に、ぜひ触れてください。



昨年の展示風景